ロジスティクス研究会

ファックス 通信 題字 浅井時郎東ト協名誉会長 インターネット・ホームページ URL http://www.totokyo.or.jp/ e-mail:sounenbu@tta.ne.jp

~安全と安心の共創~







(社) 東 京 都 ト ラ ッ ク 協 会編 集 人 大 淵 隆 次 東京都新宿区四谷3丁目1番8号 TEL.03-3359-4137 FAX.03-3359-6020

2008年3月31日発行 3月号 No. 158

◇巻頭言

東ト協女性部本部長 原 玲子〔中央支部 日本興運㈱〕

光陰矢のごとしと申しますが、旧壮年部がロジスティクス研究会として発足され、時を同じく、三組織全ての本部長が替り、新しい尽くめのスタートとなった平成十八年からはや二年(まであと三ヶ月)、竹内本部長、藤倉本部長が全力投球でその任を果たされる姿勢に勇気と元気を頂き、至らぬ点もまだまだ多く有るのですが、私なりに精一杯努めてまいりました。(見掛け倒しの虚弱体質で皆様にご心配を掛けました。)

女性部はこの二年間、基軸となる事業活動を行なってまいりました が、この厳しい経営環境においては、女性経営者として一層研鑽が必 要だと痛感し、ロジスティクス研究会の研修会に参加を呼びかけてま いりました。まだ参加人数は少ないのですが、確実に何かを持ち帰る ことの出来る研修会である事を私自身が認識している事から、今後、 より多くの参加を呼びかけていきたいと思っております。特に、ロジ スティクス研究会のこの二年間のテーマ「安全と安心の共創」は、運 送事業を営む私達に社会が何を求めているのか、又、私達は何を果た さなければならないかを再確認できた素晴らしい企画だったと思っ ております。次年度はどんなテーマで研修会を開催させるのか心待ち にしている所でございます。さて、私は、以前の東ト協三組織につい ては良く分からないのですが、現在の三組織は、交流を重ねるごとに 親近感が増しているように思います。(思っているのは私だけでしょ うか?) 私が言うのもおかしいのですが、本部長三人も妙に馬が合 うというか、お互いに協力は惜しまないという意識を持ちながら組織 の運営に努めているように思います。こうした相互協力や一体感によ って三つの組織力が合わさり一つの大きな力となり、東ト協事業の原 動力となっていける様願っております。なんだかとても僭越なことを 言っておりますが、三組織のリーダー的存在であるロジスティクス研 究会の竹内本部長を始めとする皆様方の企画力・推進力・実行力・包 容力(?) を目の当たりにして、三組織はもっと大きな力となれると 実感しているからであります。及ばずながら女性部も頑張ってまいり ます。

次年度の女性部活動は従来の事業の延長になりますが、その中の一つ、交通遺児援助活動についてですが、この援助活動を社会に幅広く知って貰う為にも継続して実行していかなければなりません。然しながら、年々参加される交通遺児の人数が減少していることからここで一度検証をしてみたいと思っています。交通遺児が減少していると捉えれば、この上なく喜ばしい事なのですが、別の要因からの減少となれば、援助の内容、参加条件、規模等深く掘り下げてみる必要があるのではないかと思っております。又、昨年山形県トラック協会女性部の方々が私共女性部をお訪ね下さり、交流会を開催いたしましたが、女性部発足以来始めてのことでした。企画として成り立つのであれば女性経営者一泊見学研修会で山形まで足を伸ばして研修旁、山形県トラック協会さんにもご挨拶させて頂き、女性部の皆様へのエールを送りたいと思っております。

取り止めも無く私心のようなものばかりとなりましたが、ロジスティクス研究会の皆様の益々のご活躍と三組織の発展並びに協力関係の拡大を心から願っております。

《百文字のひろば》

副本部長、新宿支部壮年部長 飯島 光幸〔(有)トーワ・デリバリー〕

輪をもって和をつくる

支部から指名されあまり興味のなかった場へ行き2年が経った。

場には同世代が多いせいか思考も近く、そして飲食、宿泊を繰り返すうち同業同種の問題を真に語れる友となった。

今では"無償"で業界の将来を憂い議論できる場と思っている。 今後も**"輪をもって和をつくる"**場となる事を願う

◇ロジ研壮年部長随想リレー

広報委員長、千代田支部壮年部長 大淵 隆次〔㈱協和運輸〕

ひびき広報を2年間、副本部長 山田氏、金子氏の協力をいただき発行してまいりました。そして、ロジ研先輩及び会員2組織(青年、女性)、 事務局の齋藤氏他大変お世話になりました。

その中で竹内本部長を中心とした定例の幹事会・研修セミナー・研修会、先生方の講演の素晴らしさと企画の良さは目を見張るものがありました。

この中の出来事で、平成19年11月21日「第13回温故創新セミナー・海外企業視察・交流会」山田長政の足跡を訪ねてのタイ(バンコック)ツアー研修会を振り返ってみますと、皆さんはこの企業視察・交流会は各自にいろいろな思い出があると思いますが、私がこのツアーで感じたことをお伝えしたいと思います。

バンコックの活気を担っている大きな要素は、屋台です。町中どこにでも麺類やご飯類を売る屋台があって、いかにもしっかり者という感じのおばさんが手際よく調理してくれる。料金は格安だし、少し傾いたテーブル越しに道行く人々を路上観察しながらかきこむ食事は独特の味わいがあります。

繁華街に行けば、食べ物だけでなく衣類や小物類などを売る屋台も歩道沿いに並んでいます。外国人観光客が多い地区だと通常価格よりもかなり高い値段を吹っ掛けられるから注意が必要です。しかし、売り子の表情を読みながら値段交渉をするのは面白いし、うまく値切ることに成功すれば何ともいえぬ満足感が得られます。

コンクリートで囲まれた商店とは異なって、屋台には生活のにおいが 感じられます。その日、その日の商売で生きる人々の生命力が活気を生 み出しているのでしょう。日本でも最近、屋台村や屋台横町が流行しつ つあるといいます。寂れた商店街が屋台街として甦り、街が活気を取り 戻す契機になればよいと思います。そして、今回のツアーは、ロジ研会 員とより以上の親睦を深めることができました。

今後ロジ研で学んだものは全て実現、実行して行きたいと思っております。

私自身、まだまだ勉強不足でもありますが、それでも自分なりにいろいろと学び、多くの経験・実績を積み重ねる内に部下や後輩の皆さんに微力ながら仕事の仕方・やり方について話す機会も増えてきました。今後も自分がこれまでの経験で得たものを、志を持って努力しよう、頑張ろうとしている人達に伝えていきたいと考えております。

ロマン = 夢を持って行きたい

◇特別寄稿「映画『明日への遺言』を観た」

東ト協副会長 橋場 之廣〔江戸川支部 柴又運輸㈱〕

原作は大岡昇平の「ながい旅」。主人公を演ずる藤田まことをはじめ 妻役の富司純子の演技を通して静かにして強い絆の夫婦愛には心打た れた。第二次大戦中、無差別爆撃を行ってパラシュートで降下した米兵 の略式手続きによる処刑の命令したかどで、B級戦犯として軍事法廷に 立った元東海海軍司令官・岡田資中将の記録映画。部下の命を守るため に、軍事法廷で「法戦」と位置づけ戦い、「すべては上官である自分に 責任がある」として最後まで貫き通した。絞首刑の扉の前で「では御機 嫌よう…」と言葉を残し消えていった。家族愛あり将兵愛の中で流れる 『故郷』のメロディも印象深かった。

◎ロジ研の皆様にご案内します。4月4日より小栗上野介の企画展が 開催されます。かつて壮年部の温故創新セミナーのテーマになった人で す。

群馬高崎市権田の東禅寺まで行きました。日本が日露戦争で勝利したのもこの人がいたからです。あわせて東郷平八郎元帥の書「仁義礼智信」も展示されます。

企画展内容はこのHPから http://www.meiji.ac.jp/museum/

◇お知らせ《行事予定》

◇正副本部長会議 5月21日(水)17:00~ 東ト総合会館6階

◇幹事会 5月21日(水)18:30~ 東ト総合会館6階

◇正副本部長会議 6月10日(火)14:00~ 東ト総合会館6階

◇総会 6月10日(火)16:00~ 東ト総合会館7階